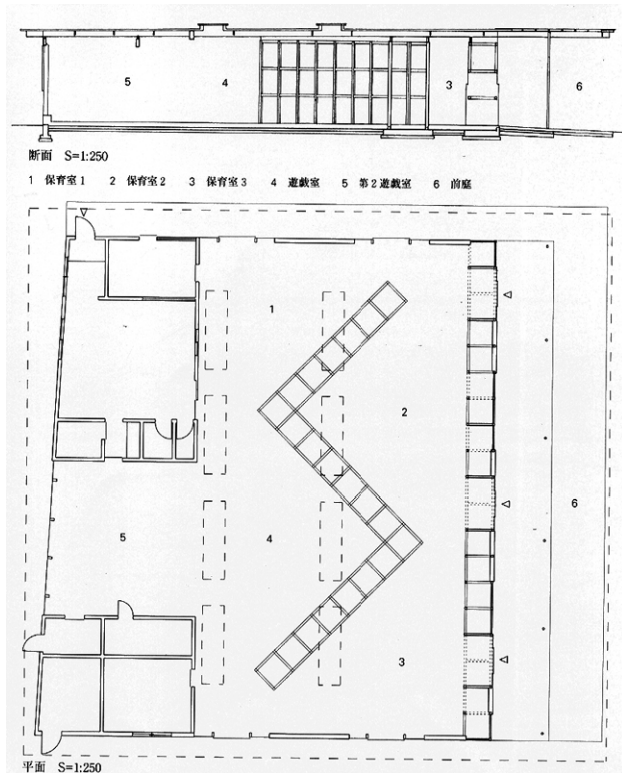


吉備高原小学校の前面のスペースに、同じ設計者によって計画された小さな幼稚園この建築は、直線状と、ジグザグ上の2つの木造立体格子と、その上部に架渡された一枚の屋根とでできている。立体格子は、1200ミリ角のモジュールのジャングルジム状の構造体である。この立体格子は、3つの保育室と、遊戯室とを緩やかに仕切る役割を果たしている。つまり、大人にとっては、仕切りとなるが、園児達にとっては、ひとつの大きな空間として受け止められる。



遊戯室



平面図

